

四種混合予防接種が始まります

11月1日から、三種混合ワクチン（ジフテリア・百日せき・破傷風）とポリオワクチンを混合した「四種混合予防接種」が始まります。次の対象者は医療機関へ電話予約のうえ、接種してください。

■対象者

生後3カ月から7歳6カ月までの方で、今までに三種混合ワクチン、ポリオワクチンのいずれも接種していない方。
※すでに三種混合ワクチン、または単独の不活化ポリオワクチンを接種されている方は、四種混合ワクチンを接種せずに、最初に使用したワクチンを接種してください。

■接種回数・方法／4回（初回3回、追加1回）

初回接種：20日から56日までの間隔で3回接種

追加接種：初回接種後、12カ月から18カ月の間に接種

■接種料金／無料

■必要な物／健康保険証、母子健康手帳

※予診票は医療機関にあります。

■医療機関

あさじ医院	☎④④ 0225	おりた外科胃腸科医院	☎④② 6000	西村耳鼻咽喉科	☎④② 6020
安積医院	☎④⑥ 0361	さかいこどもクリニック	☎④③ 0415	堀井内科医院	☎④⑨ 0150
荒木医院	☎④③ 9711	さたけ小児科	☎④③ 1717	みのりクリニック	☎④⑨ 8470
医療福祉センターきずな	☎④④ 2881	市立加西病院	☎④② 2200		
小野寺医院	☎④⑧ 3737	西村医院	☎④⑨ 0001		

※医療福祉センターきずなは、通院または入院されている方に限ります。

【問合せ】 健康課・健康係 ☎④②8723 FAX④②7521 kenko@city.kasai.lg.jp

乳幼児突然死症候群を予防しましょう

乳幼児突然死症候群（SIDS）は、それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく睡眠中に突然亡くなる病気です。

全国では、約6千人に1人が亡くなっています。生後2カ月から6カ月に多く、まれに1歳以上でも発症することがあります。原因は、まだ分かっていません。

右のことに注意して、予防しましょう。

■ SIDS から赤ちゃんを守る3つのポイント

- ①うつぶせ寝は避ける。
窒息やけがなどの事故も未然に防ぐことになります。
- ②家族はタバコを控える。
家族皆さんの協力が必要です。
- ③成長を見ながら、できるだけ母乳で育てる。



【問合せ】 健康課・健康係 ☎④②8723 FAX④②7521 kenko@city.kasai.lg.jp

集団乳がん検診のお知らせ

乳がんにかかる人は40歳代から増加し、日本では毎年約5万人が乳がんにかかります。定期的に検診を受け、早期に発見することで治る可能性が高いがんです。

市で実施する集団乳がん検診を次のとおり行いますので、まだ受けられていない方は、ぜひこの機会に受けましょう。検診無料クーポン券の有効期限は平成25年2月末日です。

■日程／12月6日(木)、7日(金)、平成25年1月7日(月)、27日(日)、2月4日(月)、18日(月)、20(水)

■場所／健康増進センター

(12/6、7、H25.1/27は健康福祉会館)

■対象／40歳以上（昭和48年4月1日以前生まれ）の女性市民で、昨年度受けていない方

■内容／マンモグラフィ検査、視触診検査、乳がんのセルフチェックの方法の話など

■料金／40歳代3,000円、50歳以上2,800円

■定員／各日30人（12/6、7、H25.1/27は60人）

■申込／11月5日から健康課で電話を受け付けします。

※市立加西病院で個別乳がん検診も実施しています。

【問合せ】 健康課・健康係 ☎④②8723 FAX④②7521 kenko@city.kasai.lg.jp

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

地方公営企業年鑑

■地方公営企業年鑑とは



市や県などの地方公共団体は、住民生活に必要な公共性の高い事業を直営の地方公営企業で行っています。給水事業・電気事業・交通事業・ガス事業・自治体病院などがこれに当たります。

地方公営企業は本来独立採算ですが不採算事業も多く、公的な資金投入を受けます。このため監督官庁である総務省は、1つ1つの地方公営企業の決算を国民が閲覧できるよう年鑑として毎年公表しています。

資料が膨大なため、決算年度から2年経って公表というタイムラグがありますが、資料の総括性と透明性は非の打ちどころがありません。

■年鑑から分かること

私は平成16年に病院長になりました。それまで診療と研究にしか携わったことのない一介の医師が、いきなり経営責任者に任命されるのはカルチャーショックでした。

院長になって泥縄式に病院運営を勉強しましたが、その教材の1つが地方公営企業年鑑です。全国の自治体病院の経営が一望でき、自院の経営が良いのか悪いのか、その要因はどこにあるのか、といったことが見えます。

もちろん、自治体病院は地域で必要とされる使命を遂行しているので、経営指標だけ取り上げて良い病院が悪い病院かを判定することはできません。自治体病

院の価値は住民にとって必須の役割を果たしているかどうかであり、その価値は地方公営企業年鑑からは見えてこないものです。

一方、年鑑を見る限り、全国の少なからざる自治体病院が経営的な困難に直面しています。こんな経営状態でどうやって事業を継続できるのだろう、と目を見張る施設も一再ならずです。

■地域の事情

最新の平成22年度版では、自治体病院経営の最も困難な地方は北海道です。その次が東北です。東北は大震災で平成23年度以降は更に厳しくなっていると想像できます。

しかし他の地方においても、経営指標の平均値は決して良いとは言えません。自治体病院の経営不振の要因は、医師・看護師の若い人材が地方の自治体病院で不足すること、診療報酬制度が中小規模の多い自治体病院に不利なことなどが挙げられます。

兵庫県下をみると、勤務医不足に見舞われた平成18年度から21年度まで経営が落ち込んでおり、診療報酬が増額となった平成22年度に持ち直した傾向です。

加西病院も同様で、平成19年度に落ち込み22年度に回復しています。平成22年度の加西病院の経営指標は、県立を除く県下32自治体病院の医業収支比率の平均が91.4%に対して96.2%と高く、他会計繰入金対医業収益比率は県下平均11.8%に対して7.1%と少なく、良好です。

(病院事業管理者・院長 山邊裕)

8020達成者を表彰 11月8日は「いい歯の日」

加西市歯科医師会と加西市は、80歳になっても自分の歯を20本残そうという取り組み「8020運動」を進めています。今年度、いい歯の代表として達成した次の皆さんが、9月に健康福祉会館で開催の「敬老月間ふるさと芸能大会」で表彰されました。

しっかり噛む習慣、定期的な歯科検診、毎日の歯磨き習慣を心がけましょう。

■8020運動達成者（50音順、敬称略）

阿部多枝子 阿部庸芳 市場峰子 井村圭子 岩佐孝義 岩崎孝代 遠藤真治 小池いく江 岡 崇正
奥隅佐喜雄 柏木吾一 金澤實美 兼松 一 河原千鶴子 神田 保 古角力ネ子 小牧元雄 近藤 務
佐伯 威 篠倉恒子 塩河清一 志方弘子 繁田政子 菅田節子 菅野徳治郎 菅野トシ 菅野敏治
千石八重子 千石 豊 高田はつ代 谷垣わき糸 谷勝千世子 谷川としの 辻 悌治 東郷たま子 長田亀義
中村貞良 中村辰夫 橋爪照美 長谷川憲正 廣田君子 福永光男 増田幸代 松尾早苗 宮川定子



「敬老月間ふるさと芸能大会」で、達成者を表彰

【問合せ】 健康課・健康係 ☎④②8723 FAX④②7521 kenko@city.kasai.lg.jp